

# 😊絵本読み聞かせ通信😊

【赤ちゃんから幼児向け】

♣保護者の皆様へ♣

第5号（令和6年7月発行）芦別市立図書館

## ♣本の楽しみ方♣

本を好きな人、嫌いな人、色々な人がいます。本は必要とする箇所（読みたい内容）だけを読むこともできます。趣味の本など好きな本を読むことも読書です。楽しく読んでみると、だんだんと本を読むことに抵抗がなくなり、面白い本を見つけるのも上手になります。読書には良い効果がたくさんあることは周知の事実です。読書の習慣を身に着けることで、豊かな人生を送ることができます。おもしろい内容やドキドキしたお話は記憶に残り、読んでもらったことが楽しい思い出になります。

子どもが大きくなると、一緒に行動することが少なくなります。今のうちに、子どもと楽しい時間をたくさん過ごしてください。

家読はいつでもどこでもできる、コミュニケーションです。



## 「本は心の土壌を耕します」

### ★ 言葉の力 ★

赤ちゃんは、優しい声掛けや触れ合いに愛情を感じています。繰り返しの言葉かけは、赤ちゃんの言葉を育てます。

気持ちを伝えるのに言葉はとても大切です。自分の気持ちを相手に上手に伝えることができると、親しくなったり、楽しく過ごすことができます。

本を読んでいると、自然と語彙が増えてきます。語彙があると、表現も豊かになり、より正しく伝えることができます。

### ★ 絵本の中の言葉 ★

絵本は、絵と文からできています。絵で多くを表現していますが、状況をわかりやすくし、注目してほしいことを言葉で表現します。短い言葉で端的に表現するため、その場面に合った言葉を厳選しています。子どもに分かる言葉を使って、お話を伝えています。

### ★ 集中して聞く力 ★

赤ちゃんはいつも周りの音を聞いています。静かなところで、ゆっくりと話しかけると、じっと見つめたり笑顔になります。

絵本を読んでいると「集中して聞く力」がついてきて、長いお話を聞くこともできるようになってきます。



### ★ 家庭に静かな時間を ★

テレビが1日中ついたり、音楽がかかっていたり、電化製品も音で知らせてくれるようになり、常に生活の中に音があるようになりました。テレビなどの電子機器を使わないと、時間が長く感じられ、色々なことができるようになります。

本を読む時間は音を消して、静かな中で読んでください。ゆったりとした時間を過ごすことができます。

だっこだーいすき!



「だっこ」  
作・絵：鈴木 まもる  
出版社：小峰書店

スキンシップ



「こちよぼこちよぼこ」  
作：中川 ひろたか  
絵：村上 康成  
出版社：ひかりのくに

さわって、たべて



「えだまめ」  
作・絵：こが ようこ  
出版社：大日本図書

できるかな?



「まねっこおかお」  
作：たかてら かよ  
絵：さこ ももみ  
出版社：ひかりのくに

あそんでるよ



「どうぶつのかどもたち」  
作：小森 厚  
絵：藪内 正幸  
出版社：福音館書店

どのいちごがすき?



「いちごです」  
作・絵：川端 誠  
出版社：文化出版局

### 赤ちゃんのコトバ

赤ちゃんは大人の言葉を聞いています。言葉かけをすると、じっと口元を見つめます。ゆっくりとやさしい声で何度も同じ言葉を話してあげると、だんだんと言語を理解するようになります。

水の流れる音を「じゃあじゃあ」、紙が破れる音を「びりびり」、猫のなき声を「にゃあにゃあ」など擬音語や擬態語で表現する言葉を「オノマトペ」と言います。赤ちゃんにも発音しやすい音が楽しいので、すぐにまねしてお話できるようになります。

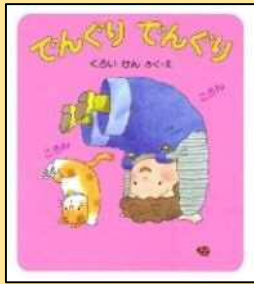
繰り返しの言葉が多くリズムがあるので、絵本の中でも多く使われています。

### 音が楽しい オノマトペの本

- がたんごとんがたんごとん(安西水丸)  
なにがやってくるのかな?
- ぴよぴよぴよ(平野剛)  
ひよこが1わ、ひよこが2わ...
- びりびり(中新井純子)  
紙をびりびり... なにができたの?
- きゅつきゅつきゅつ(林明子)  
きれいにふきましょう。きゅつ...
- ぼ ぼ ぼ ぼ ぼ(五味太郎)  
おかあさんと子どもの汽車がおでかけ
- ももももも  
(たにかわしゅんたろう/もとながさだまさ)  
これはなに?空想が広がる不思議な絵



でんぐりできるかな



「でんぐりでんぐり」

作・絵：くろい けん  
出版社：あかね書房

おふろだいすき



「わにわにのおふろ」

作：小風 さち  
絵：山口 マオ  
出版社：福音館書店

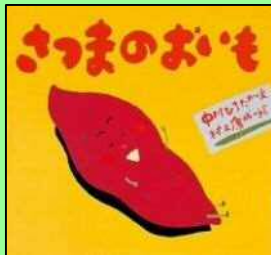
さあ はじめるよ



「パンダなかよしたいそう」

作・絵：いりやま さとし  
出版社：講談社

おいもは、つよい



「さつまのおいも」

作：中川 ひろたか  
絵：村上 康成  
出版社：童心社

ばんそうこう はります



「ばんそうこうくださいな」

作・絵：矢野 アケミ  
出版社：WAVE 出版

いってきまーす



「かわいい あひるの  
あかちゃん」

作・絵：モニカ・ウェリントン  
出版社：徳間書店

### 興味を持つ働きかけ

子どもは体験することでどんどん成長します。楽しい体験をすると、意欲的に行動するようになります。失敗すると次からは気を付けるようになります。どの体験もとっても大事なことです。興味を持つきっかけ作りに色々なチャレンジの機会を作ってあげましょう！

### 動物が好き

子どもは動物が好きです。触れ合う機会は少なくても、絵本やテレビなどで見る機会が多くあります。子どもが名前を覚えてくれたら、ほめてあげてください。動物の特徴を覚えて、見分けることができるほど成長したのです。動物の本は、特徴がわかりやすく描かれていて、絵をよく見ると発見もありますよ。

### どうぶつの本

●のあさんのどうぶつえん

(おおともやすお)

どうぶつえんのおしごと

●ぞうくんのさんぽ

(なかのひろたか)

ともだちもいっしょに

●とかげくんのしっぽ(ツク之助)

たいへん、しっぽがなくなっちゃた

●どうやってねるのかな

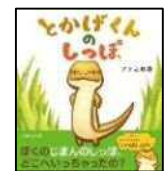
(やぶうちまさゆき)

いろいろな寝方にびっくり

●うしろにいるのだあれ

のはらのともだち (ふくだとしお)

ぼくのまわりにはいるのは だあれ？



よくみると…



「なにになれちゃう？」  
作・絵：チョー ヒカル  
出版社：白泉社

どろんこはたのしい



「どろんこおそうじ」  
作・絵：さとう わきこ  
出版社：福音館書店

アイス王国に出発！



「あたりかも」  
作・絵：きたじま ごうき  
出版社：PHP 研究所

ペットがほしい…



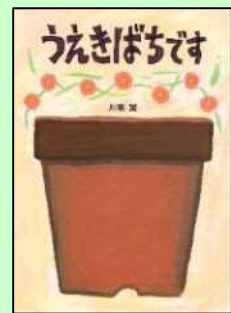
「ドラゴンだいかんげい？」  
作：デイヴィッド・ラロシェル  
絵：脇山 華子  
出版社：徳間書店

くろマントとくろぼうし



「すてきな三にんぐみ」  
作・絵：トミー・アンゲラー  
出版社：偕成社

びっくり!!!



「うえきばちです」  
作・絵：川端 誠  
出版社：BL 出版

絵本の中は夢の国

物があふれ出てきたり、予想もできない事が起きるなど、絵本の世界は奇想天外。子どもが喜んで聞いていたら、想像力が育ってお話を楽しんでいる証拠。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみましょう！

ストーリーを楽しもう！

想像力がついてくると、お話を楽しむことができます。登場人物になって喜んだりドキドキしたり。時には泣いたり、抗議することもあります。本を読むことで、子どもの心の成長が促されます。大人も楽しめる作品が多くなり、一緒に読むのが楽しくなります。

夏を楽しむ本

- ぼうしぼうしぼうし (作:神沢利子 絵:岩村和朗)
- ひとくちぱくり (作・絵:木曾秀夫)
- ねずみのかいすいよく (作:山下明生 絵:岩村和朗)
- とてもとてもあついひ (作:こいでたん 絵:こいでやすこ)
- まほうの夏 (作:藤原一枝 絵:はたこうしろう)
- なつはうみ (作:内田麟太郎 絵:村上康成)

